

## 肥満症治療のご案内

日本では肥満<sup>#1</sup>のある人が18歳以上の成人の約25%とされています。肥満は、高血圧、心臓病、脂肪肝、腎臓病など、様々な疾患のリスクを高めます。一方で、肥満は食事が多いとか運動が足りないとか、個人の努力不足によるものではなく、環境要因、遺伝的要因の割合が大きいことが明らかになりました。そこで、近年、GLP-1受容体作動薬による比較的安全で効果の高い肥満症<sup>#2</sup>治療薬が保険適応になりました。体重を減らすことにより健康を損なうリスクを低下させられる人は、本治療の対象となります。内分泌代謝内科では、肥満症のある方への薬物療法を含めた治療サポートを提供します。体重を減らすことによる健康改善に興味のある方は、お気軽にご相談ください。

#1 肥満：脂肪組織に脂肪が過剰に蓄積した状態で、体格指数(BMI=体重[kg]/身長[m]<sup>2</sup>) $\geq 25$ のもの。

#2 肥満症：肥満に起因ないし関連する健康障害を合併するか、その合併が予測され、医学的に減量を必要とする疾患。

## 治療対象となる方

2つ以上の肥満に関連する健康障害		少なくとも1つは高血圧、脂質異常症、2型糖尿病のいずれか	少なくとも1つは、高血圧、脂質異常症、2型糖尿病のいずれか	
肥満に関連する健康障害1つ		+		
肥満に関連する健康障害なし		上記以外で日本肥満学会が定めている肥満症の診断に必要な11の健康障害 <sup>*</sup> のいずれか		
	25	27	30	35
	BMI(kg/m <sup>2</sup> )			

<sup>\*</sup>肥満症の診断に必要な11の健康障害

- 1) 耐糖能障害(2型糖尿病・耐糖能異常など)
- 2) 脂質異常症
- 3) 高血圧
- 4) 高尿酸血症・痛風
- 5) 冠動脈疾患
- 6) 脳梗塞・一過性脳虚血発作
- 7) 非アルコール性脂肪性肝疾患
- 8) 月経異常・女性不妊
- 9) 閉塞性睡眠時無呼吸症候群・肥満低換気症候群
- 10) 運動器疾患(変形性関節症: 膝関節・股関節・手指関節、変形性脊椎症)
- 11) 肥満関連腎臓病

ご注意：本治療は、専門医による治療のもと、厚生労働省の最適使用推進ガイドラインに則った治療適応と治療期限を遵守して行われます。